

ほんじえ二日<sup>が</sup>たつても三日<sup>が</sup>たつても犬返しきこねので、いいお爺<sup>じん</sup>ちやが隣りの家さ行つただど。

「こんちはあ、この前貸<sup>めえ</sup>してやった犬返してくんつえ」  
なんて。

「あんなみだぐねえ犬いねもんだ。みだぐねがらぶつ殺しつちまつて、あそこの裏<sup>はだけ</sup>の畑さ  
いげできだから」

「あらら可愛<sup>かわいそ</sup>想なごどしたもんだあ」  
なんて。んでいいお爺<sup>じん</sup>ちやはそこの犬死んだどごき木植えで、供養してくつちやだど。

したらその木がまだ一年もただね内<sup>うち</sup>にみるみる大つきくなつただど。

「あららこんなでつけえ木<sup>なん</sup>が何じよすんべ」  
なんてお爺<sup>じん</sup>ちやど婆<sup>ぼん</sup>ちやで相談したど。

「このくれでつけなら白<sup>うすつぐ</sup>作られんべえ」